

二月の幼稚園

二月の保育

幼稚園……堀合文子

保育所……鈴木とく

堀合文子

<p>主題</p>	<p>年少組</p>
<p>○節分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事に対する興味を養う ・お話をする ・お面、ます等作り一緒に行事をたのしく過す <p>○ゆき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雪の日を利用して雪の観察をする 	<p>○節分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年少組と大体同じだが製作方面については、なるべく創作を生かして、その節分の行事の取扱い方もお子さん達と相談してやりたい。 <p>○ゆき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雪に対して年少組の時より、環境をととのえて科学的に知

<p>観 察</p>	<p>お 話</p>	
<p>○節分 お面やます等作つたりして、年中行事に対する興味をもたせ話をして、まね事の節分をやつたりして漠然としらせる。</p>	<p>○節分の話 ○めがね ○鬼と鏡 ○人形芝居（花咲爺） ○幻燈</p>	<p>・雪だるま作つたり雪兎つくつたりして雪であそぶ ・雪の歌、リズム遊びをする ・雪にちなむお話を ・雪の日のおえかきをさせる ○ひなまつり ・三月のおひなさまの仕度をはじめ ・春の間じかい事、ひなまつりの事を話合 ・おひなさまを作る ・おひな様の道具を作る ・おひなさまにちなんだリズム遊びをする ・おひなさまの歌をうたう</p>
<p>○節分 年少組と同じ ○雪</p>	<p>○節分の話 ○雪姫 ○たどんやとやかん ○ふしぎな青い布 ○人形芝居 一日お芝居の日として子供達がやるお芝居を他の組のお友達にみせたりするのもおもしろい。 ○幻燈</p>	<p>識をもつていつてやりたい。 ○ひなまつり ・年少組の時と大体同じだがその生活経験の内容を豊富にする。</p>

製・繪
作・画

寒い冬も明日は春が来るとゆう、立春の事もはなしをしてお
く。

○雪

雪のふつた日は皆で雪だるま、兎等を作つて、雪と遊びなが
ら雪の観察をする。日光にあたるととけてしまう事も自ら経
験させる。

○桜の花

桜の花が咲きだした。保育室の花瓶にさして、香その花の美
しき、普通の花と柄のちがう事等しらせる。

○お日さま

この頃は特別お日さまがこいしい。日向ぼっこしながら話合
つてお日様のありがたい事、冬と夏の光の強さのちがいは
なす。

○おひなさま

町でもおひなさまを売出しはじめるので登壇の途中観察して
来たのを話合つて、自分達をつくる事により観察をふかめ
る。

○おえかき「自由」

○えのぐでおえかき

○節分のお面作り

印刷したものを塗る

○節分のおえかき

○雪の日のおえかき

○節分

年少組と同じ

○雪

年少組と同じ

雪の結晶の様子を絵などで知らせたら簡単にしらせたい。

○梅の花

年少と同じ

○お日様

年少と同じ

○部屋の中の暖房（火鉢・ストーヴ）

部屋をあたためるための火鉢又はストーヴを囲んで家庭での
暖房を話合いながら、冬用いるものとして観察しておく。

○おひなさま

年少と同じ

環境の一つとして昔のおひな様の絵をはつて、今のと比較さ
せても面白い。年長ならおひなさまの飾りつけの手伝をして
どんなものをかざるのかよく観察させる。

○おえかき「自由」

○えのぐでおえかき（画台をつかつて）

○絵葉書大の紙におえかき

年長組の二月ともなるとおえかきも相当地に自由にかけるよう
になる。いつも一定の大きさの紙でなく、時には大きな
紙、時には小さい紙にかくとゆう事が必要で、今度は葉書大の

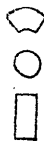
○新聞粘土でおひなさま作り

○屏風を作る

○お菓子入れる籠を作る

○おひなさまの壁かけを作る

紙に絵葉書として画をかゝせてみる。又これと類似して



と種々の形の紙にかゝせてみるのも一つの芸術でおもしろいのがみられるでしょう。

○節分のおえかき

○雪の日のおえかき

○新聞粘土でおひなさまづくり

自由に型を一定しないで作らせてみる

○新聞粘土でお供えするお菓子作り

○屏風、橘、桜、箆笥をつくる

○お菓子入れる籠を作る

○おひなさまの壁かけを作る

○千代紙でおひなさま作り

前述のは自由に創作を生かしたおひな様だが千代紙のは美しい事を目的としたもので皆が同じ形の同じ美しさを持つたものも又おひな様独特のよさとして味いたいものです。創作面はみえないが出来上りを主とした点に千代紙のも仲間に入れてやることも好ましいと思う。

音楽 リズム

○大ゆき小ゆき

○雪のリズム遊び

雪のふる表現、雪で遊んで雪だるまや、雪合戦する所を曲に併せて作る。

○まめまき

○雪のリズム遊び

○まめまき

○驚

○おしくらまんじゅう

○どなたの細道

<p>健康の習慣</p> <p>○二月の身長体重測定</p> <p>○咳をする時は手をあてましょう</p> <p>○手洗を丁寧にしましょう 寒くなると洗うのもぞんざいになるのでもう一度此処で約束する。</p> <p>○ぬれたまゝで火にあたらぬようにしましょう</p>	<p>○とんでとんでとんで</p> <p>○ねことねずみ</p> <p>○おひなさま</p> <p>○小さい音楽会 部屋であそぶ事の多いこの頃では歌の時を音楽会の形かわりばんに歌つたりして音楽会をやる。</p> <p>○鑑賞</p> <p>○簡易な楽器 たゞ楽器を扱うのでなく動作に移して扱つてみたい。 例えば歩くのはハンドカスタを用い、四歩あるいて四つ打のように曲にあつた種々の使用の仕方を考えて入れるとおもしろい。</p>
<p>○年少と同じ</p>	<p>○おひなさま</p> <p>○おひなまつりのリズム遊び 皆がおひなさまになつたり、おひな様をかざる人になつたり五人ばやしは簡易楽器用いておはやしのまねをし、他のお人形達に表現させたりして、ひなまつりの有様を曲にあわせて表現させる。</p> <p>○舌切雀 お部屋であそぶ事の多い此頃に、皆で変りばんに配役をして人にみせるためでなく、自分達がおもしろくあそびたい。</p> <p>○鑑賞</p> <p>○簡易楽器 こちらで指導案をもつてやるのでなく、日常二種類位を保育室に用意しておいて、生活の中に折込ましてやりたい。子供達が自発的にやり出した場合その機をとらえて、指導する。</p>

習
慣

○お友達と仲よくあそびましよう
○部屋の中ではなるべく静かにあそびましよう

○朝の登園時間におくれないようにしまし
○お仕事の途中ではなるべくお手洗にゆかないように
ましよう
年長組も小学校入学がちかくなるので学校生活への準備のため次第に規則にはめてゆくようにする。

二月の保育所

保育所には、進級とか修了とか云う事はない筈だと、さるお役人が仰言つた事が、全国の保母さん方の心に何か石を投じた様ですが小学校入学年令が四月一日に基準し、諸々の会計年令が四月一日を初めとしている等思うと、三月は一応、諸事業の一年の終りと云えます。小学校入学の幼児を、多数入所させている保育所は、矢張りその子を持つている家庭と同じ様に、様々な心の準備もし、共に祝う気持が自然の事と思います。

三月になつてからでは、もう何かと間に合わなく、日時はたつてしましますから、この月は、一人々々の進学期に注意をむけて、その社会生活の態度や、自分の身のまわりの仕末等についてメモ等しながら、個別指導に重点をおきたいと思ひます。

◇ ◇ ◇

鈴 木 と く

中組(四、五才児)は、年長組になる誇をもう二月頃から、はつきり意識させてもよいでしょう。たゞ、年長組になると云う事を、色々な禁止の場面や、抑圧の為に使う事のない様に注意したいものです。

この年令の組では、もうこの頃に、基本的習慣の殆どが、確立してよい筈です。その確立のしかたも、単に出来る、と云う事だけでなく、速度とか精巧さとか正しくとか、質的に、三才児より高くなつてゐる筈です。

社会生活をする上に必要な、礼儀や、作法や、規律等が、自然にそうするものだ、と云う風に身につけはじめられていると思ひますし、又、そうなつていてほしいと思ひます。